くらしの危険

Number 279

ガラス製魔法びんの破裂

最近では、中びんがステンレス製の魔法びんが一般的になりましたが、ガラス製の魔法びんは保温性の高さや値段の安さから依然良く使われており、景品や贈答品でもらうことも多いようです。中びんがガラス製の魔法びんは、ちょっとした衝撃で中のガラスが破裂して、中の熱湯が漏れたりする危険性があり、取り扱いには注意が必要です。一方、特に衝撃を与えた記憶がないのに突然破裂したという事故もあります。

魔法びんの破裂、破損の相談

魔法びんの破裂あるいは破損・折損に関する相談は、全国の消費生活センターに60件寄せられています（2007年8月28日現在）。このほとんどが、ガラス製の中びんが突然破裂や破損したとの事故です。破裂や破損をした拍子にガラスの破片でけがをしたり、熱湯が漏れてやけどをした例もあります。

PDF版

事故を防ぐために

◉**最近はステンレス製の魔法びんも増えています。ステンレス製と同様のつもりでガラス製の魔法びんを扱うと非常に危険です。**また、ガラスの質や厚みが十分でないものもあり、熱衝撃に弱いものもあるようです。経年劣化や流通の過程で傷が入ることもありえます。同じガラス製のものでも取り扱いに違いがありますので、自分の使っている魔法びんはどのタイプなのかを確認し、取扱説明書をよく読んで、特性を知り使用しましょう。

◉**ガラス製の魔法びんは、中びんの内面に衝撃を与えたりすると破裂することがあります。**また、氷水を入れた後すぐに熱湯を入れるなどの熱衝撃でも破裂するおそれがあります。落とす、ぶつける、倒す、氷などの固形物を入れてかき混ぜる、ゆするなど衝撃を与えないように注意しましょう。

〒108-8602 東京都港区高輪3-13-22　TEL.03(3443)1208　● 2007年10月発行

デザイン=ハナデザイン／イラスト=ヒラヤマ ミワ

PDF版

こんな事故が起きています

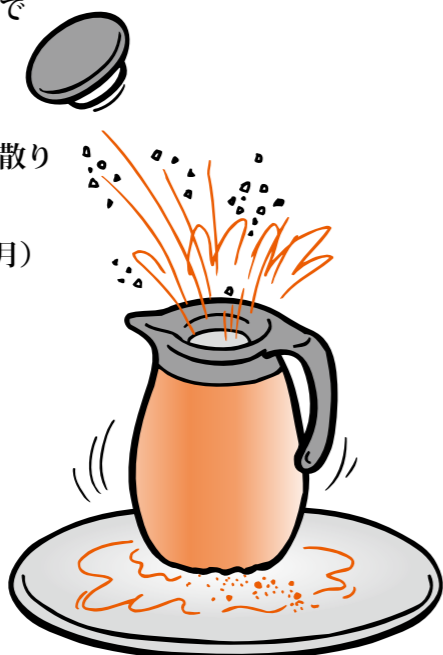
何もしないのに突然破裂した

ケース1 食卓の上に置いていた魔法びんが突然破裂した。
熱湯を注いで 30 ～ 40 分後に、「ボン」と音がして破裂した。
4～5年前に量販店で購入した中栓のないタイプ。
これまで、たわしで洗ったこともなく、
氷を入れたこともない。
（事故発生年月　2004 年 10 月）

氷をいれている時に破裂した

ケース2 いつも冷たい水がのみたいので魔法びんに水と氷を入れているが、
夜に氷をひとかけら入れたところ、破裂して下から水漏れし、
中のガラスも割れて粉が流出した。
（事故発生年月　2006 年 11 月）

茶渋の掃除をしている時に破裂した

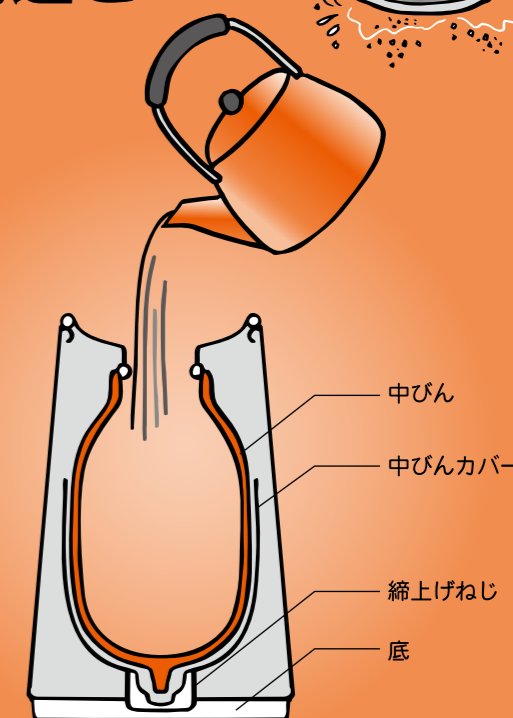
ケース3 魔法びんにお茶を入れて使用している。
茶渋がついたので柄付ブラシで
こすったところ破裂した。
けがはしなかったが、
部屋いっぱいにガラスが飛び散り
掃除に半日かかった。
（事故発生年月　2005 年 10 月）

破裂した時に飛び散ったガラスが刺さった

ケース4 娘が魔法びんにお湯を継ぎ足そうとふたをあけたら、破裂した。
茶の間中にガラスとお湯が飛び散り、娘の首に細かいガラス片が刺さった。
（事故発生年月　2006 年 11 月）

破裂したときに熱湯がこぼれやけどをした

ケース5 子どもの試合に参加する際、熱湯を入れた魔法びんを
持っていったが、体育館の観覧席の椅子に魔法びんがあたり、
中びんが破裂して噴出した熱湯が足にかかりやけどをした。
（事故発生年月　2007 年 2 月）

ガラス製魔法びんの構造と中びんの破裂

ガラス製魔法びんの中びんは、保温性を高めるためガラスびんの壁を二重にし、その間が真空になっており常に大気の圧力を受けています。魔法びんを落としたり、ぶつける、倒すなどの衝撃が加わったり、氷などの固形物を入れてかきまぜる、ゆするなど、中びんの内面に衝撃が加わった場合や小さな傷が時間とともに大きくなると中のガラスが割れることがあります。割れた時、真空が瞬間的に抜けるため大きな音がして破裂状態になります。底は締め上げねじによって固定してありますが、中びんが破裂したときに、中のガラスが割れ細かい破片とともに中身が流出することがあります。

※全国魔法瓶工業組合では「まほうびんの安全性の確保に関する基準」を定め、申請があったものについては、試験により基準に適合したものについて安全マーク SV の表示を承認しています。SV マークのついている製品には、中びん破損時の湯漏れを防止するための中びんカバーが付いているので、安全性に関して一定の目安になります。しかし、中びんカバーは中身が一気に流出しないようにするためのものであり、完全に流出を防ぐものではありません。

※家庭用品品質表示法では、「魔法瓶」の「品名」は、「ガラス製卓上用魔法瓶」「ガラス製卓上用まほうびん」「ステンレス製携帯用魔法瓶」「ステンレス製携帯用まほうびん」のいずれかを表示することとなっています。しかし、使用上の注意については、注意表示の方法は定められているものの、注意の内容についての定めはありません。